

巻頭言

浜名湖花博に思う



代表取締役社長
中村 信吾

では全国津々浦々からさまざまな交通手段で多くの人が浜名湖を訪れてくれている。そして「こんなに良い所だとは知らなかった。また来て見たい。」の声をよく聞いた。この地を知ってもらう絶好の機会であるし、地域への経済の波及効果は論をまたないだろう。

浜名湖花博が成功のうちに開催期間の半分を過ぎようとしている。目標の五百万人の入場者はまずクリアしていきことだろう。この地域においてこの快挙はすごいことだと思う。浜松を中心とした全国的な大イベントは戦前、産業博覧会なるものが行われたことを史実で知ったが今回の花博はそれ以上の規模のものと思う。

おかげ様で私も地元建設業も数々の恩恵にあずかることができた。また、この花博を機に交通のアクセスもかなり良くなってきている。思ってもいなかった水上交通のすばらしき反響もあるし、橋梁や片側二車線のバイパスの効果、また大駐車場完備などによって大旨スムーズな交通の流れもできた。当初は、大渋滞の予想も一部にあり私もバイパスの少ない浜名湖西岸がかなり混雑するだろうと思っていたのだが、思った程に

はならず本当にアクセスのまずまずの良さにホットしている。この花博の大プロジェクトにかかわってこられたいるいる分野の方々の英知と努力の賜だと思ふ。

これだけの規模のイベントはこの地にとつて五十年、百年に一度のことになるのだろうが、これを機に花博の跡地の活用の件や合併をにらんだ広域的連携の中での浜名湖のあり方など大きな意味での都市プランを考えていく必要がある。いずれにしてもきっかけやチャンスをもにしながら、さらにその地域の発展のために仕掛けづくりをしていくことが最も大切なことと考える。

地域へ仕掛けづくりをしていくことは、これからの建設業にとつても必要であり大変大きな意味を持つこととなる。建設業も時代の先取りを

表紙の写真

浜名湖花博のメインゲートの歓迎モニュメント・デザインコンペで弊社指名により施工致しました。



野生生物保護功労者として 当社が環境省自然環境局長賞を受賞

愛鳥週間に合わせて、環境省と日本鳥類保護連盟が開催した本年度の環境省自然環境局長賞を受賞致し、5月16日、浜北市の県立森林公園ビジターセンター「バードピア浜北」で県による伝達式が行われました。



写真提供 静岡新聞社（平成16年5月17日 静岡新聞夕刊掲載）

当社はコアジサシの営巣地（コロニー）を保護するため、天竜川中州の植物除去作業や冠水を防ぐ造成、車両の乗り入れを防止する水路掘削工事を無償で実施。

浜名湖畔での工事でも、コロニーとコアジサシの保護のため作業工程を変更することで巣立ちを成功させることができました。

当社の自然環境の保護活動が高く評価され、今回の受賞となりました。また、建設業協会においても当社が環境に配慮した建設事業を積極的に推進している事業所として表彰されました。



コアジサシ



環境省自然環境局長 表彰



日本道路公団東京管理局 感謝状

東名高速道路 佐久米高架橋耐震工事 日本道路公団表彰

この度、東名高速道路佐久米高架橋耐震工事において、日本道路公団東京管理局の局長表彰を受賞する栄誉に浴しました。

当工事は湖上部の対象橋脚の浚渫が約7000区ということで中部を代表する景観の浜名湖で現在開催されている花博の開催を目前に控えての時期でもあり周辺環境に十分な配慮が要求されました。そうした中仮締め切りにNRD工法を採用するなどして周辺環境や水質汚濁への十分な配慮と高度な工法を活用し無事故無災害で工事を完成した点が日本道路公団東京管理局に評価され今回の受賞となりました。

担当した鈴木正グループ長および、関主任の誠意ある対応が実施主に評価されたものでここに紹介させていただきます。